郷愁とレトロ感に思わずクスリとさせる

３月に「富山くすりフェア」がKITTEで開催

発行：日本置き薬協会　事務局

「富山くすりフェア」は、「富山の薬300年展」開催を契機に、平成５年度から全国に主要都市（42ヵ所）を中心に行い、18年度からは「おわら風の盆」に期間に富山県内で開催されていた。北陸新幹線開業に併せて27年３月に東京駅丸の内口前のOAZO一階ホールで開催後、会場をKITTEに変え今年で三回目を迎える。中央郵便局直下のJPタワー地下にある会場であり、ビジネスマン、買い物客、観光客など、様々な来訪者に「富山の薬の魅力」を発信しようとの企画で、３月７日（水）～９日（金）に開催される。

「紹介コーナー」で富山のくすりの歴史（柳行李、懸場帳、製薬道具等の展示と映像）や富山の医薬品産業（パネルと映像）の紹介、配置薬の展示、くすりの知識と正しい使い方とセルフメデイケーションの紹介､イメージキャラクター｢くすりん｣によるＰＲ。

「体験コーナー」では薬膳スイーツやドリンク、健康茶等の試飲、試食コーナー、血圧や血流の測定コーナー、薬研でつくるドライハーブ入浴剤製作などを企画している。

「物販コーナー」では配置薬や富山県物産の販売がされる予定。

富山県の医薬品産業の現状やセルフメデイケーションなどについて分かり易く紹介することにより､大きく変化する社会における医薬品や医薬品産業の役割について一層の理解と認識を深める機会の提供を目的としている。

実行委員会は(一社)富山県薬業連合会、(公社)富山県薬剤師会、富山県医薬品卸業協同組合、富山県医薬品小売商業組合、(一社)富山県医薬品登録販売者協会、富山県、富山市、高岡市、射水市、滑川市、上市町、立山町で構成。

後援は厚生労働省､富山大学､富山商工会議所､(株)薬日新聞社､(株)家庭薬新聞社。

問い合わせは、富山県薬業連合会（富山市千歳町　℡076-432-2765）へ。

本件に関するお問合せ先　　**（一社）日本置き薬協会 事務局**

〒332-0034　埼玉県川口市並木２－30－６内外救急薬品内
Tel. 080-5514－7511（有馬）　Fax. 048－251-9657